

犠牲者の方々に追悼の気持ちを持ちを捧げながらも、
対策を考えなかつただろう。東日本の震災の
私たちはこんなにも真剣に地震や津波の防
あの日、東日本大震災が起きていなければ、
ておかなければならない。
食、避難用品を入れたリュック等の用意をし
ら、いつ来てもいいように家の耐震化や非常
ら七十パーセントと高まってきている。だか
の確率は、この三十年間に六十パーセントか
なものだからだ。南海トラフで発生する地震
は、地震がいつくるか分からない、予測不能
しても、地震に対する怖さは消えない。それ
かつてきた。しかし、避難訓練を何度繰り返
が一丸となつて助け合う必要があることも分
なるし、地域の人が助かるためには、地域
参加すると、地域のお年寄りとも顔なじみに
自分から進んで参加するようになった。毎年
全く参加していかなかった地域の避難訓練にも
ることが多くなつた。そして、小学生の時は
地震が来たらどうするかーということを考え

